

# 第166回電波利用懇話会

## 「テラヘルツセンシング・イメージングの 最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」

### ご 案 内

一般社団法人電波産業会

概ね 250GHz～1THz を中心としたテラヘルツ波は、極めて短波長である、広帯域な周波数確保が可能、直進性が高いわりに適度な透過性を持つ、といった特徴を備えており、様々な応用の可能性を秘めています。例えば、通信分野においては光ファイバー級の高速無線通信が可能であり、センシングの分野ではミリメートル級の高分解能かつ非破壊非接触の新しいセンシング応用が期待されます。

しかしながら、テラヘルツ波の領域は、発振器・検出器実現の難易度の高さもあって、これまで十分に開発と利用が進んでおりませんでした。近年のデバイス技術の長足の進歩によりいよいよ実用化の兆しが見えつつあります。

今回の電波利用懇話会では、適度な透過性、高分解能、物質固有のスペクトルが多数ある、といった他の周波数帯には無いテラヘルツ波の特色を、センシングあるいはイメージングの分野に生かすための技術の最新動向と近未来展望について、それぞれの分野の専門家をお迎えしご紹介いただくとともに、テラヘルツ波利用システムの実用化に際し考慮が必要と思われる電波法関連の事項についても解説をいただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

### 記

- 1 日 時：2019年4月18日(木) 14時から16時35分まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室  
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名：「テラヘルツセンシング・イメージングの  
最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」  
各講演の題名はプログラムに記載
- 4 講 師：プログラムに記載
- 5 参 加 者：60名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 6 申 込 先：当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。  
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費：ARIB正会員、賛助会員は無料、非会員は5,000円
- 8 問 合 せ 先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道  
TEL: 03-5510-8592 E-mail: [arib-seminar2019@arib.or.jp](mailto:arib-seminar2019@arib.or.jp)

以上

# 第 166 回電波利用懇話会

## 「テラヘルツセンシング・イメージングの 最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」

### プ ロ グ ラ ム

日時：2019年4月18日(木) 14:00 - 16:35

場所：一般社団法人電波産業会 会議室

時 間	次 第	講 師
13:30	開場	
14:00	開会	
14:00～ 14:05	開会挨拶 (ARIB)	一般社団法人電波産業会 企画国際部 部長  杉 林 聖
14:05～ 14:55	講演1 実利用が進むテラヘルツイメージング 技術	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波応用総合研究室 室長 福永 香 様
14:55～ 15:45	講演2 テラヘルツセンシング・イメージングの 近未来展望	国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学センター テラヘルツイメージング研究 チーム チームリーダー 大谷 知行 様
15:45～ 16:35	講演3 テラヘルツ技術に関わる電波法	国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 所長 / テラヘルツ研究センター センター長 ARIB テラヘルツ調査研究会 委員長 實迫 巖 様
16:35	閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。